

2014 年度 日本臨床検査医学会 臨時社員総会だより

日 時：2014 年 11 月 23 日（日）9：20～10：40

場 所：福岡国際会議場 5F 501 国際会議室（第 2 会場）

開会に先立ち、名誉会員の牧野幹男先生(享年 88 歳：2014/5/30)、名誉会員の齋藤玲先生(享年 81 歳：2014/10/29)の逝去を悼み黙祷がなされ、続いて村田満理事長より挨拶があり、定款に基づき村田理事長が議長となって、委任状が 80 通で出席者（約 110 名）と合わせ評議員（社員）数（245 名）の 2 分の 1 以上（123 名以上）の出席を満たしており、この会は成立することが告げ議事を進行した。

（その他：名誉会員 9 名、功労会員 11 名が出席）

Ⅲ. 報告事項

1. 各種委員会活動報告（山田俊幸 総務理事）

2014 年度各種委員会活動について、各委員会のまとめが資料として用意され、主なものについて報告された。

1) 学術推進化委員会（委員長：出原賢治、担当理事：藤田清貴）

平成 26・27 年度学術推進プロジェクト研究課題について公募した結果、前回と同じく 13 題の応募があった。研究計画の独創性・先進性、研究計画の実効性・妥当性、臨床検査医学・医療における発展性・将来性の合計の基準で厳正に審査し 4 課題を採択した。課題内容の独自性、臨床検査医学との関連性などの点が高く評価された 1 題は助成限度額である総額 200 万円を、他の 3 題については総額 100 万円をそれぞれ支給することとした。

2) 編集委員会（委員長：村上正巳、担当理事：宮地勇人）

①本年度の優秀論文賞候補論文を選出し、学会賞委員会に報告した。

②論文投稿時の COI 報告書を策定した。

著者全員について、投稿時から遡って過去 2 年間以内で、発表内容に関係する企業・組織又は団体との COI 状態を記載。

③投稿時のチェックリストについて

共著者に自署、論文への関与を記載していただく形式に変更・作成した。

④翻訳転載について

「臨床病理」誌に掲載された原著論文を翻訳して転載したい旨の依頼が数件あり、諾否を検討した。

⑤オンライン英語ジャーナルについて

WEB 版の英文誌を作成も含め、ワーキンググループを立ち上げて検討することとした。

3) 教育委員会（委員長：山田俊幸、担当理事：北島 勲）

①2014 年 5 月に日本専門医機構が発足され、現在、新専門医制度に向けた基盤作りが進行中である。昨年度に引き続き、研修カリキュラムと研修プログラムの整備を行っている。2014 年 10 月遺伝子関連検査研修カリキュラムを追加した。

②第 61 回学術集会における「臨床検査を学ぶ若手医師の集い」と RCPC を企画した。

4) 臨床検査点数委員会（委員長：東條尚子、担当理事：米山彰子）

①平成 28 年度診療報酬改定に向けて、内保連ルートの提案書提出までのスケジュールを確定した。

平成 26 年 12 月 10 日までに内保連へ提案項目を提出、平成 27 年 4 月 10 日までに内保連へ提案書を提出する予定である。

②提案については、臨床検査振興協議会と協力していくことが確認された。

5) 学会賞委員会（委員長：三井田孝、担当理事：安東由喜雄）

7月25日に学会賞委員会が開催された。厳正な審査の結果、学術賞：松下弘道氏、検査・技術賞：池田聡氏、若手研究者奨励賞：井上直哉氏を候補者とすることが決定した。

優秀論文賞は、編集委員会で推薦された足立真理子氏、住吉尚之氏、松下誠を候補者とすることとなった。後日行われた理事会で、これらの候補者を今年度の学会賞受賞者とすることが承認された。なお、理事会で、濱崎直孝氏に河合忠賞を授与することが決定した。

6) 標準化委員会（委員長：日高 洋、担当理事：前川真人）

TSH は使用する試薬により測定値が乖離するため、ガイドラインに基づく治療に影響が出ている。したがって、2014年度は日本で最も使用されている4つの測定試薬を用いて患者血清を測定し、乖離の実態を明らかにする。現在、臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、検体を収集している。

7) 精度管理委員会（委員長：前川真人、担当理事：山田俊幸）

①第61回学術集会（福岡）で、精度管理委員会企画のシンポジウム「外部精度管理と技能試験、その重要性和取り組み」を実施する。

②2014年度CAPサーベイに119施設が参加し、2011年度以降漸増している（対前年+10施設）。遺伝子検査への参加も増えている。CAPサーベイのアンケートの結果、参加満足度は普通以上が87%であった。

③IVDグローバルニュースの読者アンケートを行い、内容を更に充実させていく。

8) EBLM委員会（委員長：市原清志、担当理事：小柴賢洋）

①第1回EBLM委員会を7月に開催。委員長提案の「EBLMの実践に必要な疾患別症例データベース構築プロジェクト」を協議した。世界規模基準値調査用に作成されたパネル血清の利用で、検査値の施設間互換性を情報技術により確保できることが提案の背景にある。

②実施には科研費の獲得が必要で、当初は血液・免疫・内分泌疾患の専門医の協力を得て、100～500症例／疾患を目標に研究申請する計画を立てた。

③今月、5国立大の臨床系6教授から研究分担者の承諾が得られ、科研費の申請を行った。

9) 倫理委員会（委員長：通山 薫、担当理事：諏訪部章）

①「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用についての学会の見解」の遵守状況や問題点等収集のために、全国病院検査部長・技師長会議参加施設を対象にアンケート調査を実施した。77施設（約44%）から回答を得た。その結果を第61回学術集会中の本委員会にて整理・協議し、今後フィードバックをかけていく予定。

②学会発表演題登録時の倫理規定のチェック方式については継続審議。

③委員の一部交代があった。

10) 利益相反委員会（委員長：佐藤尚武、担当理事：諏訪部章）

①COI自己申告書（案）を作成した。

②日本医学会から「医学研究に関する利益相反（COI）対応の現状についてのアンケート調査」に編集委員会と分担して回答した。

③医学研究の利益相反（COI）に関する細則（案）を作成した。

④理事会から検討を依頼されたIVD「臨床検査室グローバルニュース」を会誌に同封する件について審議し、条件付可と答申した。

11) ガイドライン作成委員会（委員長：古川泰司、担当理事：東條尚子）

平成26年9月6日に、2015年版ガイドライン作成に向けて、キックオフミーティングを開催した。また、

第一回委員会は、学術集会第一日（11月22日）に開催予定である。内容として、2012版に対して寄せられたアンケート結果を踏まえ、全体構成は変更せず、「検査値アプローチ」の部分の基盤として、「症候」「疾患」の項目を充実させる方針が決定された。第62回学術集会までの完成を目指し、担当執筆者の決定・依頼を行っている。

12) 遺伝子委員会（委員長：宮地勇人、担当理事：横田浩充）

- ① 遺伝子関連検査の品質保証に向けて各種ガイドライン普及に向けた方策に関する検討を行った。
- ② DTC等の遺伝子関連検査の新たな動向と課題について取り纏めを行った。
- ③ 臨床検査振興協議会医療政策委員会「臨床検査の医療政策に関する勉強会」の活動として、遺伝子関連検査の品質保証の環境整備について調査と提案を行った。
- ④ 第3回一級・第8回初級遺伝子分析科学認定士試験（本学会／日本遺伝子分析科学同学院 共同認定）を実施した。

13) 国際委員会（委員長：村上正巳、担当理事：北島 勲）

- ①2012年と2013年国際学会発表者を対象として2014年日本臨床検査医学会国際学会奨励賞受賞候補者を選考した。2012年発表者から大川龍之介氏、田崎雅義氏、中山亜紀氏、2013年発表者から菊池良介氏、西岡光昭氏の5名を推薦した。
- ②2014年8月24日～28日クアラルンプール(マレーシア)において2014ICPaLMならびにWASPaLM Bureau Meetingが開催され関係者が出席した。

14) 医療安全委員会（委員長：吉田 博、担当理事：小柴賢洋）

- ①第61回学術集会（2014年、福岡）において医療安全シンポジウムが11月24日に企画されており、テーマは「臨床検査におけるチーム医療と果たす役割」がテーマである。
- ②医療安全シンポジウム内容の紹介と周知の一環として、2013年度の実績から学会ホームページの各種委員会の中で医療安全インフォメーションとして掲載している。
- ③医療安全全国共同行動の定時および臨時の総会が2014年6月と9月に開催され、それぞれ医療安全委員長と理事長が出席した。

15) 検査項目コード委員会（委員長：康 東天、担当理事：佐守友博）

- ①2014年度は、3回の委員会を開催した。JLAC10の新規登録を、分析物コード36件、識別コード8件、測定法コード8件、結果識別（固有）コード217件、実施した。
- ②第2回委員会では、PMDAと連携しJALC10の運用事例表・6大学マッピング資料間の整合性を確認した。第3回委員会では、臨薬協と連携し、JLAC11について議論した。今後、提言書としてまとめる予定である。

16) 広報委員会（委員長：小柴賢洋、担当理事：佐守友博）

- ①10月14日(火)に振興協議会の広報委員会が開催された。
- ②学術集会中に本年度の第1回広報委員会を開催予定。
- ④本年度の日臨技が開催する「全国検査と健康展」の中で、19都府県が臨床検査医による「検査説明・健康相談」を行う予定。日本臨床検査専門医会では延べ40名の医師が出務することとなった。

17) 臨床検査室医療評価委員会（委員長：海渡 健、担当理事：米山彰子）

施設担当者が他施設と比較した各施設の現状を把握できるように、全国の検査室の実働状況を評価するためのアンケート調査を企画・実施する。アンケート内容としては、①経営面の視点（収支、必要経費、人件費等）②臨床支援体制の視点（外注比率、チーム医療参加状況、臨床問い合わせ件数等）③学問的な視点（学会参加状況、専門技師比率、学術集会発表数、作成論文数等）に分ける。ただし、医療機関毎のビジョンが

異なるため、解析結果の活用方法についても検討が必要である。

18) 会則改定委員会（委員長：谷直人、担当理事：米山彰子）

本年度より、改定した定款を施行したため、11月の学術集会時に、本年度初めての委員会を開催し、施行後の問題点などについて検討する。

19) 渉外委員会（委員長：安東由喜雄、担当理事：小柴賢洋）

現在、渉外活動を行うべき懸案事項がなく、本年度前半は特に報告すべき活動内容はない。

20) チーム医療委員会（委員長：諏訪部章、担当理事：米山彰子）

①2014年1月よりWGからチーム医療委員会へ名称を変更した。

②第61回学術集会時において本委員会と日本臨床衛生検査技師会との共催で、「医療従事者間のコラボレーション～チーム医療に対する取り組みと検査部に期待すること～」と題したシンポジウムを開催する。

③厚労省研究班「医療従事者の業務範囲拡大に関する研究（北村聖班長）」へ本学会から諏訪部委員長が出席し、検査技師による微生物検査の検体採取、味覚・嗅覚検査などの業務拡大について検討した。

21) 学術集会あり方委員会（委員長：矢富 裕、担当理事：村田 満）

①第1回委員会（9月30日開催）において、本学会の学術集会のあり方に関して、学術集会開催場所、企業展示、学会から学術集会への補助金、学会事務局と学術集会事務局の関与のあり方等について問題点を抽出し、それぞれについて議論した。

②第2回委員会（11月22日開催予定）において、再度、議論し、2014年12月を目途に答申書をまとめる予定である。

22) 研修施設・指導者認定委員会（委員長：村上正巳）

1月1日、7月1日付での新規申請施設、再認定施設の、研修施設・指導者についての適否の審査を行い、審議会に報告した。

23) 受験・更新資格審査委員会（委員長：菊池春人）

本年度の臨床検査専門医、管理医の受験・更新資格について審査を行い臨床検査専門医・管理医審議会に報告した。

①専門医受験：受験希望者14名のうち13名を有資格と判定した。

②専門医更新：2014年1月1日付更新で申請されていなかった65歳以上で過渡的措置での更新を希望する6名含め計8名について有資格と判定した。2015年1月1日付の更新対象者は112名であり、また、その他、保留、未提出者65名について更新の意志を確認する予定である。

③管理医受験：受験希望者29名について、全員有資格と判定した。

④管理医更新：2014年1月1日付更新で申請されていなかった4名について有資格と判定した。

2015年1月1日付の更新対象者は23名であり、また、その他、保留者16名、未提出者53名について更新の意志を確認する予定である。

24) 試験委員会（委員長：宮地勇人）

①日本専門医機構の整備指針に基づき、臨床検査専門医認定試験の客観性、透明性、公平性を確保するため、試験のあり方の検討を行い、臨床検査専門医・管理医審議会での審議を踏まえ、試験の見直しを順次行っている。

②第31回試験（2014年度）について、試験実施内容の評価と合否の最終判定を行った。

③第32回試験（2015年度）の公示に向けて、認定試験内規、受験者案内文書の修正作業を行った。

25) 臨床検査専門医認定試験実行委員会（委員長：矢富 裕）

8月2日、3日に臨床検査専門医認定試験を実施した。

26) 臨床検査管理医認定試験実行委員会（委員長：東條尚子）

9月21日に臨床検査管理医講習・認定試験を実施した。

27) 臨床検査専門医制度検討委員会（委員長：木村 聡）

臨床検査専門医の研修カリキュラム、認定や更新制度のあり方、さらに認定試験の方向性等について、専門医機構の新たな基準に学会として対応することを目的としている。11月24日に第1回委員会を開催する。

2. 第62回学術集会報告（岐阜2015/11/19(木)～11/22(日)）（村田 満 理事長）

2015年11月19日（木）～11月22日（日）に長良川国際会議場、岐阜都ホテルで、清島満会長（岐阜大）のもと開催されることが報告され、清島会長から一言御挨拶があった。

3. 第63回学術集会報告（岐阜2016/9/1(木)～9/4(日)）（村田 満 理事長）

2016年9月1日（木）～9月4日（日）に神戸国際会議場で、小柴賢洋会長（神戸大）のもと、第32回世界医学検査学会、第65回日本医学検査学会と同時開催されることが報告され、小柴会長から一言御挨拶があった。

4. 第10回日本臨床検査医学会特別例会報告（京都2015/4/13(月)）（村田 満 理事長）

2015年4月13日（月）に、グランドプリンスホテル京都で、熊谷俊一特別例会長（神鋼病院）のもと、第29回日本医学会2015 関西 の分科会として開催されることが報告され、熊谷俊一 特別例会長代理の事務局を担当する河野誠司先生（神戸大）から一言ご挨拶があった。

5. 新専門医制度への対応について（山田俊幸 総務理事、機構臨床検査領域 委員代表）

本年5月に日本専門医機構が正式に発足し、現在、新専門医制度に向けた基盤づくりが基本診療領域（当会：臨床検査領域）について進行中であり、時点の状況、今後の展望、主なスケジュールなどが報告された。

なお、この内容は臨床病理誌 62 巻 10 号（1014～1016 頁）、

HP（<http://www.jslm.org/recognition/control/senmoni20141018.pdf>）に掲載されている。

6. 認定試験内規と2015年の試験実施要領の改定について（宮地勇人 試験委員長）

2014年5月、日本専門医機構発足に伴い、試験の客観性、透明性、公平性を確保するため、試験制度、内容の見直しをする必要があり認定試験内規と試験要領を改定した。主な改定点は、必須科目8科目を6科目としたこと、試験実行委員については評議員（社員）からではなく臨床検査専門医から指名すること、試験は筆記試験と実地試験（口答試験、実技試験）とし、筆記試験は、原則として記述式および多肢選択問題とすること、合否判定方法を明記すること等が報告された。

7. その他（村田 満 理事長）

特になし

IV. 審議事項

1. 2014年度補正予算案・2014年度中間報告・2015年度予算案について（諏訪部章 会計理事）

2014年度補正予算案、2014年度中間実績、2015年度予算案が提示された。

2014年度補正予算案は、学術推進プロジェクト助成金を学会賞基金より一般会計の支出に移行し、その他、

6 月末日までに確定した金額（第 60 回学術集会返戻金、支部活動費、顧問料、学会賞副賞）を入れたことが報告された。

2015 年度予算案については、前年度に準じたが、例年と変わった点について説明がなされた。

主なものは、一般会計収入では、JACLaS からの寄付金を特別会計から従来的一般会計に移行し、使途として学術推進プロジェクトやガイドラインの出版費用を含めた諸々の学会活動費に役立てる方向としたこと、支出では、学術集会補助金について、学術集会あり方委員会、理事会での議論を踏まえ 500 万円にし、不足する場合には追加補助する予定としたこと、臨床検査のガイドライン 2015 年度版の作成のため、現時点では作成方針が決定していないため前回と同額予算としたこと等が報告された。

これについて、評議員（社員）より 2015 年度予算案にある JACLaS からの寄付金は、本来は以前の共催展示会の分配金であり、学術集会の助成金であったと認識しているが、その他への使途とすることは JACLaS の承諾は得ているのかどうかの質問があった。これに対して、監事より、JACLaS より寄付金とすること、使用目的は学術集会に限らないという申し入れがされている説明があり、また、前学術集会長と前会計理事から補足があり了解が得られた。その上で、2014 年度補正予算案、2014 年度中間実績、2015 年度予算案が承認された。（後頁に掲載）

2. 2014 年度事業中間報告について（山田俊幸 総務理事）

2014 年度事業中間報告があり承認された。（後頁に掲載）

3. 2015 年度事業計画（案）について（山田俊幸 総務理事）

2015 年度事業計画（案）が提示され承認された。（後頁に掲載）

4. 2015 年度からの名誉会員・功勞会員・評議員（社員）の推薦について（村田 満 理事長）

名誉会員として、理事会から渡邊直樹先生、玉井誠一先生の 2 名の推薦があり承認された。

功勞会員として、各支部から推薦され理事会で承認された下記 7 名が推薦され承認された。

寺井格先生（北海道支部）

武井泉先生、根本則道先生（関東・甲信越支部）

田内一民先生、森下芳孝先生（東海・北陸支部）

田窪孝行先生（近畿支部）

杉内博幸（九州支部）

各支部から推薦され理事会で承認された下記 13 名が評議員（社員）として提示され承認された。

恵 淑萍先生（北海道支部）、

金子誠先生、鯉渕晴美先生、里村厚司先生、角野博之先生、信岡祐彦先生、松浦知和先生、松下一之先生（関東・甲信越支部）

伊藤弘康先生（東海・北陸支部）

横崎典哉先生（中国・四国支部）

太田昭一郎先生、高橋尚彦先生、中島収先生（九州支部）

5. 評議員（社員）再任予定者（2015/01/01）について（村田 満 理事長）

2015 年 1 月 1 日付評議員（社員）の再任手続きは、12 月下旬の評議員審査委員会での審査、審議会後となるが、本年 3 月 29 日の細則改定により、評議員（社員）の再任には社員総会の承認が必要で臨時社員総会の承認を得ておく必要があるため、2015 年 1 月 1 日付の評議員（社員）再任予定者 37 名が提示され、再任単位を満たさない場合や辞任された場合は退任となる場合もあることを前提としたうえで承認された。

6. 第64回(2017年)学術集会長について(村田 満 理事長)

2017年は、村上正巳先生(群馬大)が会長として京都で第29回 WASPaLM を開催予定のため、第64回学術集會を同時開催とし学術集會長を兼ねる提案がされ承認され、村上正巳会長から一言御挨拶があった。

7. その他(村田満 理事長)

2013年度に係る定時社員総会は、2015年3月28日(土)16:00~17:00に、学士会館で開催予定であることが報告された。

V. 閉会(前川真人 副理事長)

前川真人副理事長から閉会の挨拶があり、臨時社員総会を閉会した。

2014年度 日本臨床検査医学会 総会だより

日 時 : 2014年11月23日(日) 14:30~15:30

場 所 : 福岡国際会議場 3F メインホール (第1会場)

出席数 : 約150名

まず、村田満理事長より挨拶があった。

そして、第61回学術集會長の康当店会長が議長となって議事を進行した。

臨時社員総会と同じ内容の報告がなされた。

その後、表彰式(名誉会員顕彰、功勞会員顕彰、臨床検査専門医認定証授与、国際学会奨励賞・学会賞受賞式)が執り行われた。

前川真人副理事長より挨拶があり総会を閉会した。

《2014年度補正予算案・2014年度中間報告・2015年度予算案》

一般会計

自 2014年1月1日 至 2014年6月30日

(単位:円)

【経常損益の部】	2012決算	2013補正予算	2013決算	2014予算	2014補正予算案	2014中間実績	2015予算案
(事業損益の部)							
[事業収入]							
正会員会費収入(学生会費含)	35,283,000	32,000,000	33,845,000	32,000,000	32,000,000	27,754,000	33,000,000
功労会員会費収入	805,000	1,029,000	812,000	1,057,000	1,057,000	714,000	1,000,000
評議員会費収入	266,000	250,000	241,000	250,000	250,000	219,000	260,000
賛助会費収入	3,490,000	4,000,000	3,400,000	3,600,000	3,600,000	2,900,000	3,600,000
臨時会費収入	948,000	1,200,000	1,494,000	1,200,000	1,200,000	128,000	1,200,000
会費収入 合計	40,792,000	38,479,000	39,792,000	38,107,000	38,107,000	31,715,000	39,060,000
専門医受験料収入(再試験料含)	930,000	1,500,000	1,160,000	1,000,000	1,000,000	800,000	1,000,000
専門医登録料収入	480,000	900,000	600,000	600,000	600,000	0	600,000
専門医更新料収入	940,000	830,000	830,000	700,000	700,000	1,377,000	1,000,000
専門医関連収入 合計	2,350,000	3,230,000	2,590,000	2,300,000	2,300,000	2,177,000	2,600,000
管理医受験料収入	720,000	1,200,000	720,000	720,000	720,000	180,000	900,000
管理医申請料収入	90,000	65,000	65,000	100,000	100,000	70,000	100,000
管理医登録料収入	220,000	240,000	240,000	230,000	230,000	235,000	300,000
管理医更新料収入	490,000	790,000	790,000	1,000,000	1,000,000	1,250,000	800,000
管理医関連収入 合計	1,520,000	2,295,000	1,815,000	2,050,000	2,050,000	1,735,000	2,100,000
外販収入	9,436,778	13,800,000	8,828,324	9,500,000	9,500,000	2,220,511	9,000,000
広告収入	3,840,900	4,000,000	3,427,200	3,800,000	3,800,000	566,160	3,000,000
学会機関紙事業収入 合計	13,277,678	17,800,000	12,255,524	13,300,000	13,300,000	2,786,671	12,000,000
JACLaSからの寄付金収入	—	—	—	—	—	—	12,000,000
名簿広告料収入	235,200	0	0	300,000	300,000	0	—
出版事業収入	1,239,000	1,100,000	633,675	1,100,000	1,100,000	196,416	1,000,000
許諾使用料収入	470,256	500,000	558,196	500,000	500,000	21,660	600,000
臨床検査ガイドライン冊子収入	56,140	1,000,000	573,480	500,000	500,000	117,678	500,000
臨床検査ガイドラインHB版権料収入*	1,000,000	—	—	—	—	—	1,000,000
臨床検査ガイドラインHB編集査読料収入*	1,900,000	—	—	—	—	—	1,900,000
検査診断事典編集・著作権使用料等収入	4,048,880	2,000,000	1,741,498	3,000,000	3,000,000	0	2,000,000
会議室使用料収入	1,316,360	1,500,000	1,416,628	1,500,000	1,500,000	666,100	1,500,000
雑収入(若手の会補助金の金額を含む)	293,676	300,000	297,420	300,000	300,000	0	300,000
その他の事業収入 合計	10,559,512	6,400,000	5,220,897	7,200,000	7,200,000	1,001,854	20,800,000
特別会計より:臨床検査のガイドライン2012費用補填分	—	6,740,727	6,740,727	—	—	—	—
第59回学術集会(京都)より	—	4,028,380	4,028,380	—	—	—	—
第60回学術集会(神戸)より	—	—	—	12,000,000	16,080,193	16,080,193	—
第61回学術集会(福岡)より	—	—	—	—	—	—	3,000,000
雑収入	—	—	79,800	—	—	0	—
補填分, 学術集会返戻金等 合計	3,766,294	10,769,107	10,848,907	12,000,000	16,080,193	16,080,193	3,000,000
事業総収入	72,265,484	78,973,107	72,522,328	74,957,000	79,037,193	55,495,718	79,560,000

*臨床検査振興協議会より

	2012決算	2013補正予算	2013決算	2014予算	2014補正予算案	2014中間実績	2015予算案
[事業経費]							
学会機関誌発行費用 合計	29,443,518	27,000,000	28,645,464	27,610,000	27,610,000	13,215,325	27,000,000
支部活動補助金	2,804,000	2,900,000	2,832,500	2,900,000	2,818,500	2,818,500	2,900,000
各種委員会活動補助金	2,953,944	3,000,000	2,936,080	3,000,000	3,000,000	1,080,302	3,000,000
第60回学術集会補助金	1,000,000	4,000,000	4,000,000	—	—	—	—
第61回学術集会補助金	—	1,000,000	1,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	—
第62回学術集会補助金	—	—	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,000
第63回学術集会補助金	—	—	—	—	—	—	1,000,000
第10回特別例会補助金	—	—	0	500,000	500,000	500,000	—
学術推進プロジェクト研究助成金	2,500,000	0	0	0	2,500,000	0	2,500,000
専門医認定試験費用	2,087,393	2,000,000	1,967,053	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
管理医講習・認定試験費用	470,778	500,000	558,303	500,000	500,000	25,185	500,000
会員証発行費用	91,811	50,000	42,284	50,000	50,000	26,336	50,000
諸会費	1,943,382	2,600,000	1,902,856	2,600,000	2,600,000	596,150	2,000,000
臨床検査ガイドライン冊子作製費用	6,763,827	30,000	40,133	30,000	30,000	12,780	5,100,000
臨床検査ガイドラインHB編集査読料	—	—	—	—	—	—	1,900,000
名簿作製費・確認作業・送料	816,690	0	—	1,030,000	1,030,000	0	—
名簿送料	—	—	239,065	—	—	0	—
HP作製費用	—	—	—	—	—	—	1,000,000
事業費 合計	25,431,825	16,080,000	15,518,274	17,610,000	20,028,500	12,059,253	25,950,000
会議費	931,708	900,000	724,775	920,000	920,000	791,373	920,000
旅費交通費	3,595,360	3,000,000	2,765,514	3,500,000	3,500,000	1,010,360	3,500,000
通信費	1,307,459	1,400,000	1,185,668	1,430,000	1,430,000	615,882	1,430,000
事務用品費・印刷・リース費	1,777,187	1,700,000	1,835,725	1,740,000	1,740,000	596,862	1,800,000
事務委託費	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,300,000	1,300,000	639,000	650,000
顧問料	945,000	945,000	945,000	960,000	956,250	956,250	1,000,000
交際費(慶弔費)	50,860	50,000	64,893	50,000	50,000	87,625	100,000
事務所賃借料	5,652,984	5,700,000	5,652,984	5,820,000	5,820,000	2,880,332	5,850,000
事務所諸経費	637,950	600,000	590,642	620,000	620,000	340,870	700,000
事務所備品代	438,837	300,000	240,720	310,000	310,000	216,000	500,000
水道光熱費	376,491	400,000	380,286	410,000	410,000	199,394	450,000
給与・手当	5,170,963	6,000,000	5,073,369	6,000,000	6,000,000	1,952,877	6,300,000
法定福利費	782,667	800,000	799,313	800,000	800,000	413,196	850,000
退職掛金	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
消耗品費	234,010	200,000	194,445	260,000	260,000	118,372	260,000
法人登記変更等費用	79,800	100,000	97,650	100,000	100,000	0	100,000
雑費	177,730	300,000	227,664	300,000	300,000	91,926	300,000
減価償却費	18,563	0	15,463	0	0	0	0
若手の会諸費用	293,596	300,000	297,420	300,000	300,000	0	300,000
予備費	0	11,468,107	6,740,727	3,947,000	5,612,443	0	730,000
管理費 合計	24,031,165	35,723,107	29,392,258	29,067,000	30,728,693	11,210,319	26,040,000
法人税、住民税及び事業税 合計	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	0	70,000
納付消費税等 合計	103,250	100,000	356,300	600,000	600,000	379,100	500,000
事業経費合計	79,079,758	78,973,107	73,982,296	74,957,000	79,037,193	36,863,997	79,560,000
事業収支差額	-6,814,274	0	-1,459,968	0	0	18,631,721	0
(事業外損益の部)							
[事業外収入]							
受取利息	3,027	1,200	3,399	1,000	1,000	755	1,500
事業外収入合計	3,027	1,200	3,399	1,000	1,000	755	1,500
[事業外経費]							
事業外支出合計	0	0	0	0	0	0	0
事業外収支差額	3,027	1,200	3,399	1,000	1,000	755	1,500
経常収支差額	-6,811,247	1,200	-1,456,569	1,000	1,000	18,632,476	1,500

《2014年度中間報告・2015年度予算案》

特別会計

自 2014年1月1日 至 2014年6月30日

(単位：円)

【経常損益の部】	2013補正予算	2013決算	2014予算	2014中間実績	2015予算案
(事業損益の部)					
[事業収入]					
JACLaSからの寄付金収入	12,000,000	12,000,000	12,000,000	0	—
一般会計より：臨床検査のガイド	—	6,740,727	—	—	—
事業総収入	12,000,000	18,740,727	12,000,000	0	0
[事業経費]					
第61回(福岡)学術集会補助金	—	—	12,000,000	12,000,000	—
雑費(支払手数料)	3,000	2,940	3,000	1,512	0
事業経費合計	3,000	2,940	12,003,000	12,001,512	0
事業収支差額	11,997,000	18,737,787	-3,000	-12,001,512	0
(事業外損益の部)					
[事業外収入]					
受取利息	0	0	0	0	0
事業外収入合計	0	0	0	0	0
[事業外経費]					
第60回学術集会補助金補填	12,000,000	12,000,000	0	—	0
一般会計へ：臨床検査のガイド ライン費用補填分	6,740,727	6,740,727	—	—	—
事業外支出合計	18,740,727	18,740,727	0	0	0
事業外収支差額	-18,740,727	-18,740,727	0	0	0
経常収支差額	-6,743,727	-2,940	-3,000	-12,001,512	0

《2014年度中間報告・2015年度予算案》

アジア交流基金

自 2014年1月1日 至 2014年6月30日

(単位:円)

【経常損益の部】	2013予算	2013決算	2014予算	2014中間実績	2015予算案
(事業損益の部)					
[事業収入]					
事業総収入	0	0	0	0	0
[事業経費]					
雑費(支払手数料)	3,000	0	3,000	0	0
事業経費合計	3,000	0	3,000	0	0
事業収支差額	-3,000	0	-3,000	0	0
(事業外損益の部)					
[事業外収入]					
受取利息	700	600	600	300	600
事業外収入合計	700	600	600	300	600
[事業外経費]					
ASCPaLM会議(第13回)補助金	—	—	500,000	0	0
事業外支出合計	0	0	500,000	0	0
事業外収支差額	700	600	-499,400	300	600
経常収支差額	-2,300	600	-502,400	300	600

《2014年度補正予算案・2014年度中間報告・2015年度予算案》

学会賞基金

自 2014年1月1日 至 2014年6月30日

(単位:円)

【経常損益の部】	2013補正予算	2013決算	2014予算	2014補正予算案	2014中間実績	2015予算案
(事業損益の部)						
[事業収入]						
寄付金収入(協賛社より)	1,000,000	1,000,000	2,000,000	2,000,000	0	1,000,000
寄付金収入(河合忠元会長より)	2,000,000	2,000,000	—	—	—	—
事業総収入	3,000,000	3,000,000	2,000,000	2,000,000	0	1,000,000
[事業経費]						
学会賞副賞	1,300,000	1,300,000	1,500,000	1,300,000	0	1,300,000
学術推進プロジェクト研究助成金	2,500,000	2,500,000	2,500,000	—	—	—
国際学会奨励賞副賞	100,000	100,000	300,000	300,000	0	300,000
雑費(支払手数料)	10,000	9,240	10,000	10,000	420	10,000
事業経費合計	3,910,000	3,909,240	4,310,000	1,610,000	420	1,610,000
事業収支差額	-910,000	-909,240	-2,310,000	390,000	-420	-610,000
(事業外損益の部)						
[事業外収入]						
受取利息	0	0	0	0	141	0
事業外収入合計	0	0	0	0	141	0
[事業外経費]						
	0	0	0	0	0	0
事業外支出合計	0	0	0	0	0	0
事業外収支差額	0	0	0	0	141	0
経常収支差額	-910,000	-909,240	-2,310,000	390,000	-279	-610,000

部門別 現預金残高（2014年6月30日現在）

			2013/12/31	2014/6/30
事業	預金種別	銀行名	残高	残高
一般会計部門	普通預金	三菱東京UFJ銀行神保町支店2358455	4,547,056	1,055,503
	普通預金	三井住友銀行神田支店2468682	804,239	793,083
		郵便振替法人00140-9-613334	29,792,711	40,778,046
	現金		715,647	645,583
		小計	35,859,653	43,272,215
特別会計部門	普通決済専用型預金	三菱東京UFJ銀行神保町支店2422465	75,915,109	70,654,324
		小計	75,915,109	70,654,324
アジア交流基金部門	普通預金	三菱東京UFJ銀行神保町支店2422478	3,761,378	3,761,678
学会賞基金部門	普通決済専用型	三菱東京UFJ銀行神保町支店2422481	13,603,721	13,603,721
	普通決済専用型	三井住友銀行神田支店2468693	15,149,619	15,149,199
	河合忠賞基金 普通預金	三菱東京UFJ銀行神保町支店0529289	1,899,685	1,899,826
		小計	30,653,025	30,652,746
		預金残高 合計	146,189,165	148,340,963
臨床検査がイドライン冊子収入*				
退職金積立	普通預金	三菱東京UFJ銀行神保町支店0441780	2,800,266	3,100,490
		預金残高 合計	148,989,431	151,441,453

2014 年度中間事業報告

1. 会議

総会	11月23日			
臨時社員総会	11月23日			
定時社員総会	3月29日			
理事会	3月29日	7月5日	10月18日	12月27日 (予定)
常任理事会	2月21日	6月3日	9月30日	12月13日 (予定)

2. 学術集会

第61回学術集会 11月22日～11月25日 (福岡)

3. 刊行物

機関紙	第62巻1～12号	Supplement	第62巻	補冊
名簿	刊行する			

4. 臨床検査専門医、管理医、研修施設 認定

臨床検査専門医認定試験	8月2日～8月3日 (東京大学医学部)
臨床検査専門医・管理医更新	1月1日
認定研修施設の認定・更新	1月1日, 7月1日
臨床検査管理医講習・認定試験	9月21日 (東京医科歯科大学)

5. 会員数

	2013 年度	2014 年度 (11/12)
会員数(合計)	2,979 名	2,886 名
正会員	2,705 名	2,621 名
(評議員)	(254 名)	(245 名)
学生会員	99 名	86 名
名誉会員	42 名	42 名
功労会員	133 名	137 名
賛助会員	32 社	28 社

6. 関連団体 (事業)

- 1) 日本臨床検査専門医会 第24回春季大会 (札幌) 5月30～31日
- 2) 日本臨床検査標準協議会 平成26年度学術集会 (東京) 8月29日
- 3) WASPaLM Bureau Meeting (クアラルンプール) 8月24～25日
- 4) 日本臨床化学会 第54回年次学術集会 (東京) 9月5～7日
- 5) 日本臨床検査自動化学会 第46回大会 (神戸) 10月9～10日
- 6) 日本臨床検査同学院 (認定臨床検査士試験: 二級、緊急、一級, 遺伝子分析科学)
- 7) 認定検査技師機構
- 8) 日本専門医制評価・認定機構
- 9) 日本専門医機構
- 10) 臨床検査振興協議会
- 11) 各種認定制度協議会

2015 年度事業計画（案）

1. 会議

定時社員総会	3月28日
臨時社員総会	11月19日
総会	11月20日
理事会	3月28日, 7月, 10月, 12月
常任理事会	2月27日, 7月, 9月, 12月 他 適宜

2. 学術集会

第62回学術集会 11月19日～11月22日（岐阜）

3. 刊行物

機関紙	第63巻1～12号
Supplement	第63巻 補冊
名簿	刊行しない

4. 各種委員会活動

「学術推進化委員会」「編集委員会」「教育委員会」「臨床検査点数委員会」「学会賞委員会」
「標準化委員会」「精度管理委員会」「EBLM委員会」「倫理委員会」
「コンプライアンス委員会」「利益相反委員会」「ガイドライン作成委員会」
「検査項目コード委員会」「広報委員会」「臨床検査室医療評価委員会」「遺伝子委員会」
「国際委員会」「医療安全委員会」「会則改定委員会」「渉外委員会」
「チーム医療委員会」「学術集会あり方委員会」「女性支援WG」「評議員審査委員会」

臨床検査専門医・管理医審議会

「研修施設・指導者認定委員会」「受験・更新資格審査委員会」
「試験委員会」「試験実行委員会」「臨床検査専門医制度検討委員会」

5. 臨床検査専門医・研修施設

臨床検査専門医認定試験	7月下旬～8月初旬（東京大学医学部）
臨床検査専門医, 管理医更新	1月1日
臨床検査管理医講習・認定試験	9月（東京医科歯科大学）
認定研修施設の認定・更新	1月1日, 7月1日

6. 関連事業

- 1) 日本臨床検査専門医会 第25回春季大会（奈良） 6月27日～28日
- 2) 日本臨床検査標準協議会 平成27年度学術集会 8月
- 3) 第28回 WASPaLM World Congress（カンクン） 11月18日～21日
- 4) 日本臨床化学会 第55回年次学術集会（大阪） 10月30日～11月1日
- 5) 日本臨床検査自動化学会 第47回大会（横浜） 10月8日～10日
- 6) 日本臨床検査同学院（認定臨床検査士試験：二級、緊急、一級, 遺伝子分析科学）
- 7) 認定検査技師機構
- 8) 日本専門医機構
- 9) 日本臨床検査振興協議会
- 10) 各種認定制度協議会